

令和3年度 学校再編に係る住民説明会（2回目） 意見要旨

日 時：令和3年11月24日（水）

場 所：市立体育館

参加者：4名

職 員：中山市長、三宅副市長、小野寺教育長、勢井副教育長、
築原教育政策課長、稼勢学校再編準備室室長、河口学校再編準備室係長、
曾我部学校課長、大島生涯学習課長

- 内 容：1.開会
2.市長あいさつ
3.職員紹介
4.配布資料確認
5.説明
6.質疑・応答（意見交換）
7.閉会

意 見	回 答
<p>地域との連携を図るときに、コミュニティスクールというものを利用し住民の意見を吸い上げて、学校と地域との連携を図ると。そのために学校運営委員会というのを使うという説明をなしてきたが、既に11校で多分、コミュニティスクールをつくられていると思う。このメンバーについてはあまりオープンになっていない。オープンにしていただけないかというのがまず一つ。そこで何を議論されているのか。女性はその中に何人いるのか。多くても1人、2人ではないか。言いたいことは、今後の部会の委員会もそうだが、ちゃんと女性が入る、それと利害関係者（父兄等）を入れて生の声を反映できるようにし、当然これもオープンにして議事録に残し、傍聴を認める形で進めていただきたい。今の11校の運営委員会もオープンにし、あるいは傍聴もできると、どんなことを議論をしているかもオープンにしていきたいと思いますと思う。</p> <p>交通安全に関して、交通安全推進協議会がある。これは僕はちょっと情報公開に基づいて教育委員会にお願いしているが、このメンバーは国交省のお役員とか、県や警察、小学校関係、一人を除き全員が男性。実際の通学路に関する利害関係者は道路を利用する子どもの親は一人も入っていない。小学校にアンケートをして意見は吸い上げてはいるが、実際の議論をする場には、ステークホルダーがいない。PTAの方は入っているが、こういう運営委員会にしてもちゃんと利害関係者や女性が入って、女性目線で今後進めることを、ぜひ考えてほしい。</p>	<p>コミュニティスクールについては、令和4年度には県内すべての学校で推進するというので、現在、市内の学校において準備中というところ。とはいえ、コミュニティスクールの前段階として学校評議員制度があり、8校にそれぞれ3名ずつの学校評議員が24名いるが、その中に女性の方は今年度は6名。</p> <p>通学路安全推進協議会における女性委員の割合が低いのは事実。ただ、この部分については、男性・女性というよりも、各役職というか、されている仕事でお願いしているの、その仕事の位置に女性が入れられたら、その方に参加していただくことになるので、ご理解願いたい。</p>
<p>これから新校が学校運営会という組織ができたりするが、やはり若いメンバーを。このまちを歩いて、経営者の中にも若くて建設会社をなさっている方や、農業や漁業をしている方々の中にも若くて新しい農業を目指している方もいる。まちおこしを男性でも女性でも積極的にいろんなイベントをしかける方もいる。そういう方々が子どもたちのことに関しては大変興味をもって見ているから。</p> <p>それともう一つは、今はこのまちから出ているが、例えば、千代小学校、小松島中学校を出て城東高校に行って、去年の春に東京大学に受かった方が新聞に載った。あるいは、最近知ったが、南小松島小学校を卒業し、兵庫3区で衆議院議員に今回当選された方がいる。実は年に1回帰ってくるようだ。そういう東京の大学、国会などでの情報を。運営委員会、コミュニティスクールももっともっと刺激的な、要するに新しい議論、これから先の議論ができるのではないか。</p>	<p>「学校再編準備委員会を設置します」という説明をさせていただいたが、基本的に、設置については来年度以降になる。そのメンバー構成や運営方法については議論していくことになるので、先ほどいただいたご意見は参考にさせていただきたい。</p>

意見	回答
<p>資料の「教育」のところで、「特色、魅力、質の高い教育」で「①魅力ある教育をしてほしい」「教育の特色を出してほしい」という意見がある。今日も来る前にニュースを見ていたら、櫛淵小学校が習字の達人を呼んで、皆の前で披露してもらっている。その前にも、小松島小学校も出ていた。私は、魅力ある教育、保育をしてきたつもり。桁外れなことをいっぱいやってきた。本当に楽しく。だから、人数が多い少ないとかは全然関係がない。</p> <p>やはり、どれだけやる気があるかが問題だと思う。教育委員会が一貫して「大人数でなければだめ」と言うが、私は大体30人くらいの幼稚園でやってきたが、すごく魅力ある保育をしてきたが、皆頑張ったが、職員3~4人で頑張った。だから人数が多いから少ないからというのはちょっと見方がおかしいのではないかということ。一環して感じる、この説明会で。そのへんを保護者はマインドコントロールを教育委員会にされているのではないか。</p>	<p>小学校も現段階において11校の校長が各学校の状況に応じて、「こういった活動をすれば今のうちの学校の子どもにはプラスになるのではないかな」という形の取組の一貫が、パラリンピックの方に来ていただいて話を聞くとか、そういう活動につながっていく。ただ、これも単発で終わってしまうと価値がない。学校長が年間の計画の中で、どういう方に来ていただいて話をしてもらおうと効果的とか、どういう活動を入れると特色が出るかという形で、今はしている。ただ、どうしても11校、それぞれの状況によって違う。さっき言っていた人数もまったく違い、置かれている状況も違う。新聞等でいろんな形で報道されるが、小松島市全体としての形というのがなかなか見えてきていない。</p> <p>「大人数」の話に関係するが、何年も全国学力学習状況調査の分析をしてきた。ずっと過去から分析してきた中で、どうしても伸び悩んでいる部分がある。知識・理解は十分とれる。でも弱いのが記述であるとか、もっと具体的に言えば、「司会進行の方がどのようなまとめ方をしたらいいでしょうか」とか。そういうことは何人かのグループの中でしないと、意見のまとめ方や説明をするのが弱い。教育委員会としてもテコ入れしようとしているが、難しい。</p> <p>その一つの背景に、あまりにも人数が少なくなってしまうと、どうしても個々の考えが見えてしまう。多様性の部分が厳しくて、「〇〇さんが言ったから構わない」ではなく、「〇〇さんはそう思っていたか」「〇〇さんはどう思っていた？」という中での学習となっていくことが大事。その部分が小松島市にとって不足している。「大人数」という話をしているのは、グループでの学習や発表会であるとか、そういう活動が学校教育の中では必要性がある。それができていく環境を最低限保障していきたいと考えている。</p> <p>複式学級になってしまうと、正直大変な部分がある。それは子どもたちはもちろん、学校側も。次の日の教材研究を2学年分しなければならぬ。子どもたちにとっても、違う学年の子が教室の中に入ると、どうしても一律の流れの中の授業展開ができない。こっちで教えると、次はこっちとなる。</p> <p>そういう状況も避けたいという思いが、大人数の話になっている。大人数と言っても必ず40人の学級でないといけないとは思っていない。ただ、いくつかのグループを4つとか5つくらいできる、グループで話し合いを皆で持ち寄ってする。発表会をするときにA君はこの役、B君はこの役、という役割分担をして、何かをつくっていくことができる。そういう学校経営、学級経営ができるような集団を求めたい。それが今回の学校再編の一番の目的である。</p> <p>「特色」というのは、小松島市の子どもたちにとっての課題を克服していくことが特色につながるし、魅力につながっていくのではないかと考えている。</p>

意見	回答
<p>実は我が小松島は過去70年くらいにわたって、子どもたちを育て、送り出してきた。要するに、頭脳流出をずっとしてきた。今度の学校再編の大きな眼目は、子どもたちが出ていく行くのはしょうがない、戻ってきてもらう流れをどうつくるのか、というのが小学校に課された大きな仕事だと思う。そうでないと、ますますこのまちはいつまで経っても頭脳流出、労働力の流出の供給源にしかない。おっしゃることは素晴らしいが、現実、子どもたちは帰ってきていない。少子高齢化の問題に正面から向かわないと。</p> <p>もう一つ、別の話だが、あまり校舎そのものをどうするのか、ピロティ式にするという話があったが、防災関係に関してもあまり深い議論はされていない。例えば、トイレの問題という非常に、特に女性目線で見た避難所・施設という観点もある。GIGAスクールでも、今までの教室だとパソコンを置くと教室が狭いと。もっと幅を広げないといけないということも文科省から出ているし、あるいは、授業中に生徒が集中できる構造というものがあるようだし。そういう構造についての議論も、それもベーシックはオープンに。関係者も含めて議論するというので、その建物の中身についてもあまりされていないと思う。</p>	<p>建物についての議論の話だが、南中学校は文部科学省の基準では十分に足りている。しかし現実的には、もう少し教室が広い方がよかったなと今は考えているところ。それは今言われたように、単に座学で聞くだけの学習だけでないのが現実。机の上にタブレット端末を置き、教科書を置き、ペンを置くとしても今までのサイズでなく、もう一回り大きいサイズのものが必要になる。そうすると、今までの基準でつくった教室では、現在では35人学級が基準だが、35人入ると本当に横を通ることもできないという状態。今まではどうしても建物の設計などハードの部分に関して教師側は関わっていなかった部分がある。でもそういうところにも現場の先生の意見がある程度反映させるようなことができないかと考えている。柔軟性のある授業展開をするための教室をつくっていかないといけない。財政面での話などもあるが、現場の先生方の意見等を参考にできればと考えている。</p>
<p>教育の低下について思うのが、「地域力の低下」「家庭力の低下」、それがやはり大きいと思う。だから特別私は地域の役はしてないが、個人的には、今だったらクリスマスが近いから家の周辺をずっとイルミネーションで飾っている。そうすると少しは気持ちがほころぶかなと思ひ、毎年している。それと無料の野菜の苗などを提供するコーナーを家の横に設けている。夏はメダカの赤ちゃんがいっぱい生まれ、「どうぞ」と言うと、坂野や羽ノ浦などいろんなところから来る。だから皆が幸せになったらいい、皆が豊かになったらいいという形で私はしているが、そういう地域力とか、家庭力をつけていけば、学校の教育に対して子どもがちょっと変わってくるかなと。</p> <p>民生委員や保護司をされている方がいるが、形だけの役でなく、具体的にあなたたちがどういうことを地域でやっているかを私はやはり示してほしいと思う。役ばかりに拘らず、教育委員さんとか、民生委員さんとか、児童委員さんとか、それから観察保護・・・、具体的に地域に展開してよってというのが私の中である。そうすると地域がよくなる。もっと小松島がよくなる。だから役がほしいというか知らないが、もっと地域のために、小松島市のために、子どものためにもっと役職を捨てて、地域に頑張してほしいなと私は思う。</p>	<p>地域との問題はこれからの学校にとっては、地域の教育力の低下についてどのように対応するかが課題の一つである。地域の役員ではいろいろな機会に学校に来てくださるが、学校に来る機会のない方々の活動とか、思いとかを吸い上げていく、キャッチしていくというのは学校にとって大切な要因である。PTAとのつながりもそうだが、コミュニティスクールなどの中で広げていく必要があるのではと考えている。</p>
	<p>小松島市の教育や小松島の魅力をつくっていくかということだが、私自身の体験で申し訳ないが、私が小学校の時は1クラスに40人あまりいたが、いろんな同級生と遊んだ。男子ではスポーツで少年野球だったり活発な子が多かった。私自身はそこまでは積極的にやろうという気持ちではなかったが、田んぼで魚釣りをしたり、趣味の合う子がいて、その子と一緒にいろんな遊びを通じて学んだというのが私自身の体験。</p> <p>教育委員会としていろんな話もあると思うが、自分自身を振り返ると、同級生と遊んだ時にいろんなことを考えながら、その時の工夫でこんなことができたとか、いろんな思い出がある。今の子どもたちに当てはめると、1学年が10人あまり。15人くらいとすれば、男女7人7人くらいの構成の中で、周りの皆がスポーツをしていたら遊ぶ子がいなくなってしまう。そういう環境で子どもたちが本当にその子に合った、伸び伸びとした少年・少女時代を送れるのかと考えてしまうところ。</p> <p>ある程度の規模があって、その中で、子ども同士の遊びや学びの中で、自分自身が成長するし、私の場合は小松島が好きになった大きな理由にもなっている。個人的な体験で恐縮だが、そういうことも一つのきっかけになり、ある程度の子ども同士の遊び友達、あるいは一緒に何かを楽しむ、そういう規模は大事ではないかと思っている。</p>

意見	回答
	<p>地域の役割の話については、何となくお互いが関わらないで、自分の世界で生活をされる方も多くなり、なかなか地域で皆でとというのは難しい時代になった。今の時代のいろんな価値観の中で皆さん過ごされているので、その地域に対してのご理解は難しいとは思いますが、一人一人の思いが見ていただける、特に教育であればPTAの方々や教員もそう、それが見ていただき、地域の方々に分かっていたりするような活動はもっとしていかなければと思う。学校教育としてももう少し教育委員会の方で話し合っていたら、地域と子どもと学校が機能するようにやっていった方がいいと思っている。</p> <p>個人的な考えで恐縮だが、私はそういう考えで、今回再編にぜひご理解いただきたいと思っている。</p>
<p>新開小学校区の通学路では、最近、車が大きくなり、その道路では車の対向ができない。それを今日も大型トラックが工事でばんばん走っていたが、15時くらいだと子どもたちが帰ってくる。新開校区の学校の予定地はあのあたりと決まっているのか。そうしたら工事の開始予定が令和10年から15年。道路の拡幅工事だけでも、和田島小学校とかほかの小学校も含めてだが、通学路だけでも道路の拡幅工事を優先してすることを検討していただけないか。</p>	<p>学校再編の前にできることはやっていきたい。ほかの学校の施設整備も含めて、再編する学校だけではなく、11校のうち10校はかなり古いので、その校舎等施設整備も含めてやらなければいけないと思っている。それに加えて、通学路での大事故が全国的に発生しているの、それを踏まえてしっかりと悪いところは直していきたい。また道路を拡幅できるところは拡幅する。</p> <p>特に児安小学校前の県道なんかも非常に危ない状況。ここも徐々にはあるが歩道の整備をしている。そのようにできることをしっかりと、スピード感をもって新開校区のことも含めて、再編を待たずにできるところはやっていきたいと思っている。</p>

令和3年度 学校再編に係る住民説明会（2回目） 意見要旨

日 時:令和3年11月26日(金)

場 所:小松島中学校

参加者:7名

職 員:中山市長、小野寺教育長、勢井副教育長、
築原教育政策課長、稼勢学校再編準備室室長、河口学校再編準備室係長、
曾我部学校課長、大島生涯学習課長

- 内 容:1.開 会
2.市長あいさつ
3.職員紹介
4.配布資料確認
5.説明
6.質疑・応答(意見交換)
7.閉会

意 見	回 答
<p>5つの部会をつくらなくて書いてあるので、まだまだ議論しなければならないことがたくさんあるのは当然のこと、何を議論しなければならないのかの整理がまだついていない。</p> <p>香川の竹下和男さんがなさっている「弁当の日」というもの、教育関係者の間では有名なのでご存じと思うのだが、小松島11校で行われている学校はあるのだろうか。</p>	<p>常態的にしている学校はないと思う。PTAですごく話題になって、4、5年前か、小松島市内で行ってみようかと学校があったと思う。しかし、現実的にはいろいろ問題点があって実施できなかったのではないかと、定かではないが。もしかしたら1校くらいは実施した可能性がある。</p>
<p>子どもたちが出て行かないようにするというよりは、戻ってこれるような、あるいは、戻ってきたくるようなまちにする。そのためには、小学生の時に、どれだけの忘れがたいものを、子どもたちに提供できるか。自主防災会などと共同してグラウンドでサバイバルキャンプ、防災キャンプをやる。そこで自分でテントを張って飯を炊いて火をおこして魚をさばく。そういうふうなプログラムを考えようとしたら、今回の小学校再編についての理念がある。そのプログラムを支えるような、カバーするような。それは非常に単純なシンプルな言葉で表現する必要がある。例を申し上げたが、今や時代としては、「かくあるべし」とか「こういうふうにしなきゃいけない」という時代では全くない。だが、私たちはそういう考えで子どもを育て子どもたちを都会へ送り出した。結果、今日の小松島をむかえている。そうではなくて、それぞれが自分の頭で考える子どもたちをどう育てていくのかという議論をしなければいけない。</p> <p>今回は絶対に過去のことを踏襲するよりは変革。同調ではなくて自立(律)。クローズではなくオープン。ダイバーシティ、多様性。ジェンダフリー。いろんなことにステークホルダー、利害関係者を入れる。そういったことが今回の学校再編のキーワードになるのではないかと私は思う。理念というのは他のところからもらってもいいと思う。そういうものを今回の再編に関しては打ち出すことが必要。本当に子どもが行きたがる、親御さん達が行かせたいという学校をつくるために、いろいろ考え、そういった方向で進めていただければと思う。</p>	<p>基本的に学校というのは理念の学校教育目標があって、具体的な方策があって、それを実施していくための年間計画を出している。だから、各学校には学校教育目標という理念的なものはある。その学校の実態によって、水とか、藍とか、ふるさと探訪とか、オリエンテーションとか、その学校のオリジナル的な部分を年間計画の中に組み込みながら、学校運営を行っている。先ほどの、「弁当の日」の話にもあったが、そういう切り込みで、学校運営を行っていく場合もあれば、違う形態をとって学校運営を切り込んでいく形もある。そういう形で現在も動いている。ただ、今までは11校あった。11校の年間の教育課程をすりあわしていくことは正直難しい。今言ったようないろんな活動をエッセンスとして各学校に入れていくためには、集約した学校の年間計画をきちんと見直す必要がある。ねらいとして、9か年を見通したという形で案に書かせてもらっている。小松島がめざすべきもの、それに対して各学校に小松島の良さを入れていく。実際に小松島の良さなどは、当然、学校の教育活動の中に今も入っている。それが市内で共通してできているかということ、11校あるのではなかなか難しい。学校再編をすることによって、そういった共通の話題、市内の子どもたちの共通のキーワード、アイテムといったものを作れたら良いと考えている。</p>
<p>そういう議論では絶対ない。今議論しなきゃいけないことはどんな学校をつくるのかということでしょう。</p>	<p>先ほど部会の話があったが、その部会の中で出てくる。例えば南中をつくる時であれば、「敬」という言葉が出てきた。それを部会の中で揉んでいく。そして、どんな学校づくりをしていくかをみんなで相談をしていく。</p>
<p>私は、「こういう学校の姿にしなきゃだめですよ」と言っている。だが、教育長は今までのやつをそのまま継続するとおっしゃっている。</p>	<p>それはちょっと違う。各学校では、やっている。いろいろな学校の特色に応じて目標を決めてやっている。それを継続するのは当然。学校の方はそれを出さないといけないうし、それはどうしてもいる。だから、それはする。ただ、市内の学校に共通するような何か理念的な部分、その部分というのは当然つくっていく必要があるということも言っている。</p>

意見	回答
<p>例えば、建物自身もGIGAスクール、パソコンを使うから、スペースだって全然変わってくる。ALTの先生が入ってくる、外国語の時間数は増える方向。プログラミングだって増えてくる。そういうふうな中で、私らが、子どもたちに何を伝え、このまちを活性化させなきゃならない。なぜかという、できるだけ帰ってきてほしい。今まで送り出すばかりだった。それこそ頭脳流出。帰ってくるためにはどうしたらいいのかという議論を。戻りたいまちとどうやったら思うのか。それは、11校をミックスするという話では絶対はない。何か新しい知恵がいる、新しいプログラムがいる。そこを私は言っている。</p>	<p>だから、部会の中で協議する。</p>
<p>それは当然。私の言いたいのは、論点整理をしなきゃいけない。いろんな問題が出ているので、この部会だけで十分なのかも議論しなきゃならない。それと串刺して議論しなきゃならないことも多々出てくる。いろんな問題を出しているが、これから議論を深めなきゃならないことが多々あることを最後に申し上げる。</p>	<p>それはもちろん。</p>
<p>1つだけ聞かせてほしい。質の高い教育とは何ですか。</p>	<p>質の高い教育というのは、具体的に言えば、いろいろな学習形態や体験活動によって、知識だけでなくいろいろな生きる力を養っていきける、そういう教育。以前は、知識を勉強することが主であったが、今はアクティブラーニングということが新学習指導要領に出てくる。アクティブラーニングとは何かというと、能動的な学習。主体的にやっていける学習。今までの学習よりも定着が非常に大きくて深い。こういう教育を実現していくことが質の高い教育だと、私は考えている。</p> <p>現在では、知識だけを習得するというような学習ではなくて、様々な方法、グループ学習や対話的な学習、ディスカッションをすること、自分から問題を解決する、問題解決学習、探究学習になってきている。教師が一斉に教える形ではなく、子どもに合わせて指導をしていく、支援をしていくというような指導が主になってきている。子どもに応じた教育をしていくことが質の高い教育ではないかと捉えている。</p>
<p>今はできていないのか。</p>	<p>できていないというわけではない。ただ、全国学力学習状況調査の中で、小松島市の課題として、対話的な部分、司会進行とか物事をまとめていくとか、そういった部分が弱いという結果が出ている。これは、小松島市の学習形態の中では、その部分が不十分であるということになる。そこで、小さい学校は、今言ったような内容を、別の形で、例えば地域の大人の方に入ってもらってするのだが、やはり一番理想的なのは同年代のいろいろな考え方を持っている子どもたちと、いろいろな話をして相手に納得してもらうような説明をしていく、ないしは、相手の説明を聞いて理解していくというような活動、環境をつくる。学校再編で一定規模の集団ということは何度も言っているのは、同年代の子どもと話の中で納得し、相手の意見を聞きながらいろんなものを達成していく。当然達成したときには一緒にやって良かったというような気持ちの交換もある。そういう教育を再編によってめざしていく。それが先ほど言った質の高い教育にもつながっていくと思っている。</p>
<p>今までの学校再編の中では、今語られたようなことは具体的にあまりなかった。質の高い教育というのを文字で言われて、これから先、学校再編してどのように教育を進めていきたいというようなことに関しての説明はなかった。深く入り込んだところまで。今は再編できてから次どういう学校をつくるかというまではいっていないと思う。学校を再編するに従って、次の時点で、どういった学校をつくるかということは、教育委員会の方も市長も含めて話はされて次に進むのだと思うが、保護者の方の中には、まず作る時にそういうことを先に考えてくれという方もおいでるだろうし、また再編してから次の時点でこういうことを進んで論議してやってくれという両方の意見があるのではないかと。今、掘り込んだ話をしていたのだが、これからそういう話もしていただけるのか、説明をするのか、住民の中でもそういう話をするのか、また議会の中でもそういう掘り込んだ進んだ話もしていただけるのか、そこらが分からない。今後そういうことについてどうなるのか、答弁があればそれでもいいし、今後考えることであればそれでもいいし。私も初めて今日の説明会で聞いて今までの説明会とちょっと違うのかなと感じた。</p>	<p>一昨年は教育の中身についての話は確かに少なかった。今回は説明会に回らせてもらう中で、できるだけそういう部分、要は理念が大事、どうしていきたいかということを中心に提示していくべきではないかと。今回は、そういった質問も多くて、答えたが、当然教育委員会としては、どうして学校再編をするのかという部分で、単純に老朽化したから、人口が減ったからというのではなくて、やっぱり子どもの教育を考えていくためにするということをもっともっとアピールしていかなければならないと思っている。</p>

意見	回答
<p>私も小学校での説明会に参加させていただいたが、教育の内容について、当然時代とともに文部科学省の打ち出したものが変わっていくのは分かるが、案外子どもにしたら、新しい小学校に変わったから全く今までになかったものが始まるとか、期待していないと思う。自分が普通に学校へ行って、友達と遊んで、勉強して、そこでストレスがかからないことが、子どもの目線で考えた場合、そうあるべきと思う。教育の中身の話について言われていたが、それはそれで考えないといけないが、子どもからしたら、普通に私らが経験した学級、私らは普通に学校に来ることに対して、とりたてて学校で何かしないといけないという感覚はなかった。だから、大人の考え方、当然これから市の学校の在り方、編成についてやっていくのは分かるが、子どもの目線で、通学の問題とか、スクールバスの問題とか、そういう部分の方、それを少しでも子どもにとってストレスがかからないような形の施策をとっていただけたらと思う。</p>	<p>南中学校をつくったときは、中学生だったので、意外と通学についての部分は大きなトラブルがなくスムーズにいったところがある。当然2つの学校が合わさったときに、小さい学校の子が辛い思いをするのではという思いもあって、それに対しての手立てを打ったが、それは意外とすんなりいった。でも、今回の再編は小学校。小学校1年生の子が大きいランドセルを背負って4月に歩いている姿というのは心配でもある。当然、保護者の方もそういう思いを持っていると思う。再編したときに、通学路も変わる、スクールバスの可能性があるという部分の不安を除いていく。子どもたちにとったら、違う学校の子と一緒にいる。すごく良くなって行く部分もあれば、不安のある子もいる。そういう部分の配慮は、準備委員会の1つのカテゴリーとして協議をしながら、保護者やお子さんにお返しをしながら再編をむかえていきたい。一番は気持ちよく学校へ行って友達と遊べること、その環境づくりを以前よりもていねいにやっていかないとはいえないと考えている。</p>
<p>南小松島小学校での説明会の時に、児童の通学路のことにに関して、今すでにある問題として提案したというか、提起した。南小松島小学校の端、松高の角に交差点がある。私はそこで8月31日、時間は7時20分から8時までの40分間、車の通行量を調べた。北行きの車が282台、南行きの車が133台、合計415台。約1分間に10台、6秒に1台車が通る。道路幅は5メートルちょっと、狭いところはそんなもの。私は水曜日だけボランティアでそこで交通指導をしているが、通行量が多くて子どもたちが通るのに非常に危険。この問題を教育委員会として学校再編の中でどういう議論がなされるかは大事。いろいろ問題はあるが、ここではそういった事実があるという報告。</p>	<p>今おっしゃられた市道、松高のところはどうするは言えないが、少なくとも南校にかかるところは、例えば、校舎建設の時に大型車が入りるので、水路にカルバートを入れて、今の堀を壊して内側に歩道をつくれば道路幅はかなり広がる。歩道橋を改造して直接校舎に行ける、1階をピロティにするので2階に渡れるような対策もとれるのではないかと。これは今後もっともっと詰めていかなければならないことだが、いろんな可能性がある。当然子どもたちの安全を最優先に考えていきたいと思っている。</p>
<p>芝生川から今の小学校の西門、芝生川から松高までの部分が非常に狭い。</p>	<p>芝生川からは民家があるので、ゾーン30を設定するとかしかできないのではないかと。一方通行にするのも難しい。協議の可能性があるのでゾーン設定。北小松島小学校区にあるような、ゾーンとか速度制限。そこは協議したい。</p>